

長崎県警察へ高齢者事故防止啓発チラシ・反射材を7千枚寄贈

～令和5年秋の交通安全運動(9月21日～30日)を前に長崎県警察で贈呈式を実施～

一般社団法人日本損害保険協会九州支部長崎損保会(会長:森 和郎 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 長崎支店長)では、高齢者の交通事故防止を目的に、高齢者事故防止啓発チラシと反射材(ブラックほたるくん)7千枚を、「令和5年秋の交通安全運動(9月21日～30日)」を控えた9月15日に長崎県警察へ贈呈しました。

始めに森損保会会長から、「長崎県の7月末時点の交通事故死亡者数は18名と昨年に比べ4名増加しており、その中でも、高齢者の歩行者関連事故や、道路横断中の死亡事故が多いとお聞きしている。寄贈する高齢者事故防止啓発チラシには、日常使いの靴やかばんに貼っていただける反射材を付けている。9月21日から始まる『令和5年秋の交通安全運動』では、『高齢者を始めとする歩行者の安全の確保』や『夕暮れ時と夜間の交通事故防止』も重点実施事項となっており、寄贈するチラシ・反射材を活用いただきたい。今後も長崎県警察との連携が図れる交通事故防止活動等を通じて、より安全・安心な長崎県を実現する取組みを行っていききたい。」と挨拶がありました。

引き続き、チラシ等の贈呈を受けた長崎県警察本部 多田 浩之 交通部長から、「例年、今の時期から年末にかけて交通事故は増加する傾向が見られる。令和5年秋の交通安全運動も含め、本日いただいたチラシは、県民の交通安全意識向上のため、有効に活用させていただく。」との挨拶がありました。

長崎損保会では、引き続き、県警察や関係団体等との連携・協力関係を深めながら、着実に高齢者事故を減減できるよう、交通事故防止活動に取り組んでいきます。



森損保会会長による挨拶



多田交通部長による挨拶



贈呈の様子



贈呈したチラシデザイン



記念撮影